

市民の暮らしと福祉守り、地域経済活性化を

日本共産党 宮本和宏新市長に申入れ

宮本新市長に申し入れる日本共産党の石堂委員長、松葉氏と小牧議員（22日）



松葉栄太郎氏、小牧一美議員、石堂淳吉委員長

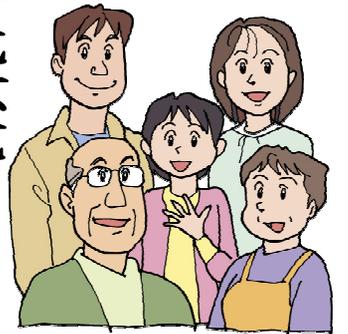
中学校給食、子どもの医療費無料化拡充
住宅リフォーム助成制度の復活、情報公開など…

日本共産党守山市委員会は22日、先の市長選で初当選した宮本和宏新市長に対して、市民の暮らしと福祉を守り、地域経済活性化させることを基本においた市政運営をされるよう、申入れを行いました。申入れには、石堂淳吉市委員長、松葉栄太郎党市くらし対策責任者、小牧一美市議会議員が参加。申入れとともに、市長と懇談しました。

申入れは、これまでの大企業優先の市政運営から市民の暮らしと福祉を優先した市政運営となるよう、具体的な市民要求を示して、その実現を求めたものです。

市長選でも、市民要求のひとつとなっていた、中学校給食の実施や乳幼児医療費の無料化の拡充、新市長の公約でもある公共交通の充実を福祉の観点から具体化を図ること、また地域経済対策としての住宅リフォーム制度の復活、懸案になっていた高すぎる国民健康保険税や介護保険料及び利用料の引き下げなどを要望。また平和市長会議への参加も申し入れました。

厳しい地方財政のなか、大企業に対する誘致補助金や、国の法律が失効して9年が経とうとしているのに、いまだに続けられている「同和」対策事業などを見直せば、必要な財源は確保されます。市長に対し、「いいことはいい、悪いことは悪い」と積極的な発言していく日本共産党の姿勢を示しながら、宮本市長の市政運営と市民要望の実現を求め、懇談しました。



「TPPでどうなる 食と農」

農業シンポジウムに81人

いこの国政の焦点のひとつになっているTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）。菅政権は参加する方向で準備をすすめています。そこで「TPPに参加すれば食と農はどうなる」をテーマに、自由に意見交換する場として、守山革新懇は20日、守山市民ホールで、シンポジウムを開きました。シンポには、小池恒男県立大学名誉教授、和牛肥育

守山革新懇

農家の勝見友男さん、認定農家の田中善也さん、近江八幡市農業委員の西川与平さんがパネラーとして参加、集まった81人の参加者とともに、熱心に交流しました。

TPPによって日本の農業と食の安全が深刻な打撃を受けること、農業分野だけでなく広範な分野において日本の主権が脅かされることなどが問題提起されました。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL・FAX 582-3785
<http://komaki.jcp-web.net/>

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 516号 2011・2・23 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。